

～実施率は？学んだ内容は？学ぶ目的は？～

年齢帯別 学び事・習い事の実施率に関する調査

- この1年間で「学び事・習い事」の実施率が最も高いのは女性25～29歳、男性30～34歳
- 男女とも多くの年齢帯で「学び事・習い事」を実施する人と実施しない人に二極分化
- 仕事に関する講座は男女とも20～34歳で実施率が高く、50～64歳で低くなる

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山口 文洋）が企画・運営する講座・レッスンの資料請求・予約サイト『ケイコとマナブ.net』は、学び事・習い事情報を把握するため、全国の働く男女を対象に「人気おケイコランキング」調査を実施しています。今回はその結果から、年齢帯別（20～34歳、35～49歳、50～64歳）に比較した調査結果がまとまりましたので、その結果をご報告いたします。

なお、結果は『ケイコとマナブニュース！』でも紹介しています。<http://www.keikotomanabu.net/news/>

参考資料：<https://prtimes.jp/a/?f=d10032-273-pdf-1.pdf>

結果の要約

◇学び事・習い事の実施率、「実施しない理由」～年齢帯別比較～ ……参考資料 P.5～9

- 「学び事・習い事」の実施率は、男女とも20代後半～30代前半が高くなる傾向
- 「学び事・習い事」の未経験率は、女性：30%前後、35歳以上男性：45%前後で一定
- 実施しない理由は「費用」「仕事の疲労」「時間」「やってみたい学びが見当たらない」

2016年の学び事・習い事の実施率を問うたところ、女性では25～29歳、男性では30～34歳が最も高く、ともに25～34歳をピークに以降年齢が高くなるとともに実施率は下がる傾向にあった。また、「過去に実施したことはない」と答えた比率を集計したところ、女性では全年齢帯で30%前後、男性では34歳まででは年齢が上がるごとに未経験者は少なくなるものの、35歳以上では50%弱と変わらず、学び事・習い事を実施する人・しない人が二極分化していることが推定される。

また、過去1年間学び事・習い事を実施しなかった人にその理由を問うたところ、「学習費用がかかる」「仕事で疲れていてやる気が起きない」「勉強時間がなく続けられなさそう」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」の4つの理由のいずれかを挙げた人が多数を占めた。

◇実施した学び事・習い事、実施目的 ～年齢帯別比較～ ……参考資料 P.10～11

- 女性では「ヨガ・ピラティス」「英語」、男性では「英語」「簿記」が全年齢帯で人気
- 学ぶ目的は女性の20～34歳・男性では仕事目的の項目が高い

この1年間で実施した学び事・習い事においては、女性は「ヨガ・ピラティス」「英語」、男性は「英語」「簿記」が全年齢帯で人気を集めた。ほか、女性では料理関連の習い事が若年で順位が高く、男性では35～49歳で「宅地建物取引士」、50～64歳で「ゴルフ」が上位となった。学ぶ目的では、男性では全年齢帯とも1位「仕事のため」2位「教養・知識を深めるため」だったが、女性では年齢帯ごとに特徴がみられる。全体傾向としては、若年になるほど「仕事のため」「就職・転職のため」といった仕事目的の項目が高くなっている。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/